

はもいあ

「はもいあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2016年12月発行

すっかり寒くなり、コートを着込んで出勤する毎日です。気が付けば師走。なんだか気持ちもせわしくなってきた、今年もあと少しで終わりだなあと感じています。今月から、男性職員が1名、2カ月の育児休暇に入りました。復帰の時には、今まで以上にイクメンパパになっていると思います。体験レポートも楽しみです。
さんかくカレッジ市民企画講座も後半に入りました。17日には、父と子のさんかくカレッジがあります。まだまだ、事業が目白押しのはもいあです。皆さん、どんどん参加してくださいね。

ジェンダー・ギャップ指数2016が発表されました！ 日本は、144カ国中 111位

ジェンダー・ギャップ指数（GGI）は、各国の社会進出における男女の格差を示す指標のことで、スイスのジュネーブに本部をおく世界経済フォーラム（WEF）（1971年創立の非営利財団）が、毎年公表していて、4分野「政治分野」「経済分野」「教育分野」「健康分野」のデータから作成されます。今年は10月26日に、2016年版が公表されました。

●過去最も低い「111位」

2016年の日本の順位は、144カ国中111位で、前年の101位から大きく順位を下げました。日本の順位が低い理由として、政治分野・経済分野の格差が未だ大きいことが挙げられます。「政治分野」においては国会議員に占める女性の割合が低い（122位）ことや、「経済分野」では勤労所得（推定）の男女比（100位）や管理職に占める女性の割合（113位）、そして専門職に占める女性の割合（101位）が低いことが、順位を下げる要因になっています。

●格差改善のための取り組み

右の表は、今年と10年前の指数と順位を表しています。指数は、「0」が完全不平等、「1」が完全平等を示しており、ほとんどの項目で増加していますが、日本は他の国よりも格差改善速度が遅いため、順位が低いまななのです。

日本BPW連合会（※）によると、完全な男女平等社会の実現は、現状の速度でいくと170年後になるかもしれないとされています。

男女があらゆる分野で個性と能力を十分発揮できるには、政治や経済のみならず、あらゆる分野における男女間の格差の解消が必要です。

他の国々が男女の格差を縮めている中で、日本は格差がなかなか縮まらない状態が続いています。日本でも、思い切った取り組みが望まれます。

日本BPW連合会：女性の社会的地位と職業水準の向上等を目的とする非政府組織。

分野における男女格差

※2016年について、少数第3位を四捨五入して標記

	2016年		2006年	
	指数	順位	指数	順位
政治	0.103	103	0.067	83
国会議員	0.11	122	0.10	86
閣僚	0.29	50	0.14	59
最近50年の首相の在任年数	0.00	68	0.00	41
経済	0.569	118	0.545	83
労働力	0.78	79	0.66	76
類似労働における賃金	0.66	58	0.62	63
勤労所得（推定）	0.51	100	0.46	72
管理職	0.13	113	0.11	87
専門職	0.63	101	0.85	55
教育	0.990	76	0.986	60
読み書き	1.0	1	1.00	1
初等教育の在学	1.0	1	1.00	1
中等教育の在学	1.0	1	1.00	1
高等教育の在学	0.9	103	0.89	76
健康	0.979	40	0.98	1
新生児	0.94	95	0.94	1
平均寿命	1.06	1	1.06	1

募集中

婦人相談員（嘱託職員）を募集しています



- 1、採用予定日 平成29年3月1日
- 2、採用予定人数 1人
- 3、主な業務 諸問題を抱える女性の相談や支援ほか
- 4、受験資格
 - ・昭和32年3月2日以降に生まれた人
 - ・地方公務員法第16条に定める欠格条項に該当しない人
 - ・普通自動車免許を有する人 など詳しくは、男女共同参画センターまたは市民生活課（市役所5階）で配布する試験要項をご覧ください。か、市ホームページ「職員募集」(<http://www5.city.yokkaichi.mie.jp/menu5253.html>)をご覧ください。
- 5、試験日と会場 平成29年1月22日（日） 男女共同参画センター
- 6、応募期間・応募先 平成28年11月16日～12月22日（必着）郵送又は直接男女共同参画センターへ
（直接の場合祝日を除く火～土曜の8：30～17：15まで）

報告

日本女性会議2016秋田に行ってきました

10月28日～29日に日本女性会議2016が秋田市で開催され、参加させていただきました。地元秋田の小学生による竿燈(かんとう)演技で、にぎやかに幕をあげた今年の日本女性会議には、全国からおよそ1,600名の方が集まり、“みつめて みとめて あなたと私～多様性(ダイバーシティ)とは～”のテーマで、記念講演や分科会、シンポジウムなどが開催されました。

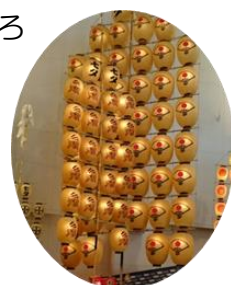


はじめに、内閣府男女共同参画局長の武川恵子さんより「男女共同参画施策の現状と課題」についての基調報告があり、その後に行われた記念講演で、ヘア・メイクアップアーティストの藤原美智子さんが、流行に敏感なヘア・メイクの世界において、個性が人の魅力を作り、自信も作るというお話をされました。

2日目は、午前中に、参加者が8つのテーマ10の分科会に分かれ、私は、女性の活躍をテーマにした分科会に出席しました。分科会では、女性の活躍を進めるために必要なこととして、自分も相手も大切にできるアサーティブな面にスポットを当てて議論がされました。午後からは、各分科会の報告とシンポジウムがあり、人口減少率ワースト1と言われる秋田で、幸せで豊かな社会を築いていくためにはどうするとよいかという課題について、それぞれ違った立場のパネリストから課題に向けた取り組みについて意見交換が行われました。

今回、参加させていただき、大会を通して様々な角度から「多様性」について学ぶことができました。また、全国から参加された年齢も立場もいろいろな方と話すことができ、その活動のパワーに圧倒されるとともに学ぶことも多い有意義な研修となりました。

最後は、来年の日本女性会議2017の開催地である、北海道苫小牧市よりメッセージが寄せられ、今年の日本女性会議は盛況に幕を下ろしました。



【第2分科会】

“隣の芝生は見ない、自分の芝生を育てる” 心に残った言葉です。

【国重要無形民俗文化財の竿燈】

男性から見たDV

11月16日(水)13:30から、四日市市総合会館8階第4会議室で、NPO法人SEAN(シーン)理事の中村 彰さんを講師にお招きし、「男性から見たDV」をテーマに講演会を開催しました。講師からは、「DVは女性の問題ではなく、むしろ男性の問題としてとらえ、暴力を振るわずに目的を達することが必要と、男性が男性に対して非暴力のメッセージを発することが重要である」と話されました。

非暴力男子を増やすために

はじめに、1991年、カナダで始まった、男性が主体となって女性に対する暴力撲滅に取り組むホワイトリボンキャンペーンの紹介と日本における展開について説明されました。

次に、DV加害者更生プログラムを受講した男性の事例を取り上げ、「夫が変わろうと努力していたとしても、信頼関係を壊した夫を、被害者の妻がすぐに許してくれるはずがない」ことを肝に銘じておくことが肝要だと話されました。また、大学での女子学生のレポートから、彼氏からの様々な要求がデートDVの範疇に入ること、後日のDV学習で認識したという事例が紹介されました。

最後に、NPO法人SEAN作成の子ども向け男女平等教育教材(DVD)の内容紹介と、参加者による夫婦の会話事例のロールプレイングをしていただくことで、ジェンダーの視点に気付くとともに、パートナーとのよい関係を築くヒントにいただけたのではと思います。



NPO法人SEAN作成のDVDを視聴

＝参加者アンケートから＝

- ・DV問題を考えるよい機会をいただいた。
- ・いろいろな面で気づきがあった。
- ・ロールプレイングは、わかりやすかった。
- ・DVDは、とても参考になりました。

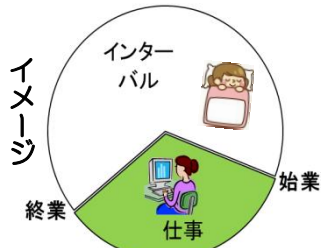
今月のキーワード

『勤務間インターバル』

『勤務間インターバル』ってご存じですか? 「ニッポン一億総活躍プラン」(平成28年6月2日閣議決定)では、働き方改革として長時間労働の是正に取り組むことが挙げられています。長時間の労働により、体を休めることができないまま仕事を続ける状態が続くと、仕事の効率は下がり、心身にも影響が出てきます。このような問題に対し、長時間労働を減らす取組みとして、「一定の休息時間をとれるようにする」という考え方が『勤務間インターバル』です。一定の休息時間をルール化することで、生活時間や睡眠時間を確保でき、ワーク・ライフ・バランスを保ちながら働き続けることができるようになると考えられています。この『勤務間インターバル』の考え方はEU諸国で、すでに法制化されており、日本でも、独自に取り組む企業は少しずつですが増えてきています。健康的に仕事ができる労働環境作りのひとつとして、また、男女が協力して家庭を運営するうえでも

『勤務間インターバル』の普及は、ワーク・ライフ・バランスに欠かせない要素です。

参考/厚生労働白書



男女
共同

さんかくeye

このコーナーでは、はもりあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話を聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。もちろん、『男女共同参画』の視点★を通してね。

今回は、私(43歳男性)の子育て奮闘記です。

R君とK君は、11月で4歳3カ月になりました。この記事が出る頃には、R君とK君はお兄ちゃんになっています。そう、我が家に3人目が生まれるのです。そして、私はしばらく職場から姿を消します。そう、育児休業を取らせていただきます。遅くとも11月21日には生まれますので、その日から1月末まで育児・家事に専念させていただきます。皆さんに会えるのは2月に入ってからになります。育児休業中の奮闘についてはまたご報告いたしますので、楽しみに待っていてくださいね。

と言うわけで、現在妻の入院に備えいろいろ対策を取っています。これまで妻が担当していた幼稚園の持ち物準備や衣類等の収納など、失敗しないように持ち物リストを作ったり、収納先がわかるように印をつけたりと準備しています。ただ、一番の不安が子どもたちのお弁当です。料理は苦ではないのですが、限られたスペースに色合い良く詰められるかというところ…自信がありません。【美的センスを持ち合わせていない担当:Y】

登録グループ紹介

私もアナタもい〜い〜よお〜の会

代 表：葛西 友子
連絡先：059-328-5503

はじめまして！！

『私もアナタも、い〜い〜よお〜の会』代表の葛西友子です。

いつもいつも、頑張っている自分を「い〜い〜よお〜」って認めていますか？

そんな、親子で一緒に楽しく過ごせるように、お手伝いをさせていただきます。

活動内容は、ベビーマッサージなどを予定しております。

当グループに興味のある方や、参加してみたいという方は、

お気軽に上記連絡先へお問合せください。



図書コーナーのご案内

男女共同参画センターにある図書コーナーには、女性の生き方、子育て、介護、老後など、男女共同参画に関する図書を備えており、また、お子さん向けの絵本や紙芝居なども備えています。

図書の貸し出しも行っており、ご本人確認を行えば、すぐに借りることができます。図書の貸し出し期間は1ヶ月（ただし新刊は2週間）です。書籍は、平成25年度以降に購入したものは、当センターホームページ「はもりあ四日市」で確認できますので、ご覧ください。

新刊図書のリクエスト等も随時受け付けており、センター図書購入時、図書選定の参考にさせていただきます。

お近くにお越しの際は是非お越しいただき、皆さまの学習に活用してください。



○●◎あとかき◎●○

こんにちは。松永です。冬になり、布団から出にくくなるほど寒くなりました。

冬が好きな私にとっては、待ち遠しい季節がやってきたこととなります。

ウィンタースポーツや雪だるま作りなど、冬にしかできないことをたくさんやりたいと思います。

あと1カ月で2016年が終わります。冬の楽しみを満喫するために、お体を大切にしてください。



四日市市男女共同参画センター（はもりあ四日市）

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml>